

## 神戸発ユニット、メジャーデビュー

防災士の資格を持つ石田裕之さん(40)と阪神淡路大震災で被災したKAZZこと榎田和宏さん(48)による神戸発の音楽ユニット「ブルームワークス」が今月、メジャーデビューを果たした。東日本大震災の発生から来月で10年となるのを前に、被災地で生まれた絆などを歌った新曲「Bloomin」(ブルイミン)と笑顔の花咲いたを「を」を発表。神戸から温かなメロディで減災の思いを届ける。

ブルームワークスは平成29年に結成。それまでは個別に活動しており、ボーカルの石田さんは「阪神大震災時に何もできなかった」という思いから防災士の資格を取得し、被災地支援を行ってきた。



音楽で防災のメッセージを届ける神戸発のユニット「ブルームワークス」の石田さん(右)とKAZZさん(ブルームワークス提供)

一方、ボイスパーカッションのKAZZさんは震災で自宅が全壊。県立大大学院で防災を学び、各地で啓発活動を進めてきた経歴を持つ。

音楽活動のかたわら、被災体験の伝承に邁進してきた2人は出会ってすぐに意気投合。ユニット結成後はインドネシアのスマトラ島沖地震の被災地を訪問し、そこで感じた復興への願いをポップな楽曲に乗せて伝えてきた。

今回は大手レコード会社「ワーナーミュージック・ジャパン」からのメジャーデビューが決定。新曲では避難の重要性や被災地での絆を歌詞に込めている。

3月6日にはJR三ノ宮駅南側の屋外ホール「ストリートテール三ノ宮」で記念ライブが行われる。